

令和4年度 全日本消防人共済会事業報告書

全日本消防人共済会は、協同互助の精神に基づき、組合員（全国の消防団員及び消防職員等）の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的として火災共済事業を行っており、その事業運営にあたっては、平成21年度に決定した「これからの全日本消防人共済会の運営にあたっての基本方針」に基づいて行っております。

令和4年度の事業報告については、消費生活協同組合法第31条の7の規定に基づく同法施行規則第4章第4節事業報告書及び第5節附属明細書に規定されているところにより報告します。

1 組合の事業活動の概況に関する事項

1-1 当該事業年度の末日における重要な事業活動の内容

全日本消防人共済会（以下「当共済会」といいます。）が行った主な事業は次のとおりです。

火災共済事業（火災共済金及び風水雪害等共済金の支払い）

1-2 当該事業年度における事業の経過及びその成果

当共済会の令和4年度の事業経過及びその成果は次のとおりです。

(1) 組合員出資金異動表（令和5年3月31日現在）

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
組合員数（人）	317,500	282,415	△35,085
出資口数（口）	3,457,427	3,200,011	△257,416
組合員出資金（円）	345,742,688	320,001,105	△25,741,583

(2) 組合員数の内訳（令和5年3月31日現在）

区 分	令和4年度	契約者数の区分と契約申込者の内訳	
		B型火災共済	C型火災共済
組合員数（人）	282,415	282,269	146

(3) 共済事業加入契約者増減表（令和5年3月31日現在）

区 分	令和3年度	令和4年度	増 減
加入契約者数（人）	317,500	282,415	△35,085
加入口数（口）	3,841,366	3,407,230	△434,136
受入共済掛金（円）	381,851,240	337,318,840	△44,532,400

(4) 共済金等支払状況（単位：円）

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		増 減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
火災共済金	48	64,989,108	42	27,430,554	△6	△37,558,554
風水雪害等共済金	152	8,661,000	114	6,924,000	△38	△1,737,000
合 計	200	73,650,108	156	34,354,554	△44	△39,295,554
地震等災害見舞金	498	12,940,000	493	13,720,000	△5	780,000

共済金は火災共済金、風水雪害等共済金ともに昨年度を下回る件数及び金額となりました。特に目立った台風等の被害もなく、過去最も少ない共済金の支払となりました。

また、地震等災害見舞金は、令和 4 年 3 月に発生した福島県沖を震源とするマグニチュード 7.4 の地震の被害により 493 件を支払いました。

(5) 支払余力比率（単位：百万円）

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	前年度差
支払余力総数 (A)		1,822	1,818	△4
リスク総数 (B)		216	214	△2
	R ₁ (一般共済リスク)	81	79	△2
	R ₂ (巨大災害リスク)	129	129	0
	R ₃ (予定利率リスク)	0	0	0
	R ₄ (財産運用リスク)	15	16	1
	R ₅ (経営管理リスク)	5	4	△1
	R ₆ (第 3 分野リスク)	0	0	0
支払余力比率 (C) (C)=(A) / [(B) × 1/2] × 100		1,686%	1,696%	10%

リスク総額の計算 $[(R_1)^2 + (R_3 + R_4)^2]^{1/2} + R_2 + R_5$

支払余力比率の巨大災害リスクの計算については、厚生労働省の通知（平成 27 年 3 月 31 日付社援協発 0331 号第 2 号）により、工学的事故発生モデルを用いた手法で算出しています。

1-3 増資及び資金の借入れその他の資金調達状況

令和 4 年度において資金の借入れその他の資金の調達はありませぬ。

1-4 組合が所有する施設の建設又は改修その他の設備投資

当共済会は、施設を所有していません。

1-5 他の法人との業務上の提携

当共済会が他の法人との間で業務上の提携を行っているものはありませんが、加入促進や広報活動において、消防団員等の活動支援等を行っている公益財団法人日本消防協会と協力し、合同で加入促進説明会を行うなどの活動を行っています。

1-6 直前3事業年度の財産及び損益の状況

直前3事業年度の財産及び損益の状況は次のとおりです。

(単位：円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	本年度
組合員数	342,702	329,861	317,500	282,415
組合員出資金	344,251,890	344,407,790	345,742,688	320,001,105
受入共済掛金	412,620,160	397,636,260	381,851,240	337,318,840
支払共済金	102,793,018	109,508,224	73,650,108	34,354,554
地震等災害見舞金	110,000	370,000	12,940,000	13,720,000
経常剰余金 (税引前当期剰余金)	177,235,529	138,577,739	165,139,285	166,977,913
利用分量割戻金	41,252,162	39,747,202	38,180,034	
総資産	2,540,973,022	2,633,471,724	2,734,036,864	2,799,021,683
(有価証券)	(1,021,655,079)	(1,121,231,950)	(1,120,798,821)	(1,120,365,692)
純資産	1,733,925,826	1,803,771,736	1,881,096,225	1,956,026,380

1-7 今後対処すべき重要な課題

近年、自然災害が増加傾向にあることから、風水雪害等共済金の補償額を従来の2.5倍(1口当たりの共済金が全損で30,000円から75,000円に増額)とする規約の改正を今回の理事会・総代会の議決を経て、厚生労働省に認可申請を行います。

今後、今回の「風水雪害等共済金の補償額の増額」と「地震等災害見舞金」を柱とした広報に力を入れ、職域活動を活発に行うことで、加入契約者数及び加入口数の増に繋げ、協同互助の精神のもとに全国の消防人のための適切な事業活動を組織一体となって取り組んでまいります。

1-8 教育事業の状況

当共済会は、火災共済事業のほか、次のような活動を行いました。

(1) 火災予防ポスターの募集及び配布(38回目)

全国の小学生・中学生を対象とした火災予防ポスター図案を募集し、令和4年度全国統一防火標語を記入した防火ポスターを3万7千枚作成し、火災予防運動に呼応して各都道府県(消防協会)及び各市町村へ配布し、消防関係者と共に組

合員に対する火災予防思想の普及、高揚に努めました。本年度は、全国323校から2,235点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞は、宮城県蔵王町立宮中学校2年山口涼菜さんの作品が選ばれました。

(2) 防火防災に関する作文の募集と作文集の配布（22回目）

全国の中学生を対象に防火防災に関する作文を募集し、佳作以上の作品を入賞作品集として文集を5,000冊作成し、全国の消防機関へ配布し、消防関係者ととも組合員に対する防火防災意識の高揚に努めました。本年度は、全国130校から1,631点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞は、岩手県大槌町立吉里吉里中学校9年東谷柚月さんの作品が選ばれました。

(3) 防災活動車の交付

教育事業として、組合員である消防団員が平時には地域住民に対する防火防災のための広報として、災害時には地域住民の避難誘導など地域の防災と福祉の向上を目的として、防災活動車（SUV型）2台の交付を行いました。

2 組合の運営組織の状況に関する事項

2-1 前事業年度における総代会の開催状況

令和4年度に開催した総代会及びその議決事項等は次のとおりです。

開催年月日	令和4年6月21日 通常総代会
総代総数	104名
出席総代数(書面)	104名
議案及び議決状況等	<p>議案</p> <p>第1号議案 令和3年度事業報告及び決算認定について 監査報告 承認</p> <p>第2号議案 令和3年度剰余金処分案について 承認</p> <p>第3号議案 役員改選について 承認</p> <p>第4号議案 役員給与規程の一部改正について 承認</p>

開催年月日	令和4年7月26日 臨時総代会
総代総数	103名
出席総代数(書面)	100名
議案及び議決状況等	<p>議案</p> <p>第1号議案 役員補充について 承認</p>

開催年月日	令和4年12月5日 臨時総代会		
総代総数	103名		
出席総代数(書面)	99名		
議案及び議決状況等	議案 第1号議案	役員給与規程の一部改正について	承認

開催年月日	令和5年3月2日 臨時総代会		
総代総数	102名		
出席総代数(書面)	99名		
議案及び議決状況等	議案 第1号議案 第2号議案	令和5年度事業計画及び収支予算について 令和5年度役員報酬の支給について	承認 承認

2-2 組合員に関する事項

令和5年3月31日現在における組合員数等の状況は、前記1-2の(1)組合員出資金異動表のとおりです。

2-3 役員に関する事項

当共済会における令和5年3月31日現在の役員名簿は次のとおりです。

役職名	氏名	都道府県名	就任又は再任日
会長(代表理事)	秋本 敏文		令和4年6月21日再任
理事長(代表理事)	三輪 和夫		令和4年6月21日再任
常務理事(理事)	田中 豊		令和4年6月21日就任
理事	花田 了影	北海道	令和4年7月26日就任
理事	沖山 仁	東京都	令和4年6月21日就任
理事	水島 三雄	福井県	令和4年6月21日就任
理事	市原 泰	高知県	令和4年6月21日就任
理事	陣内 成和	佐賀県	令和4年6月21日再任

監 事	大濱 進彦	大阪府	令和4年6月21日就任
監 事	岸谷 義雄		令和4年6月21日就任
監 事	土居 敏夫		令和4年6月21日就任

2-4 職員数及びその増減その他の職員の状況

職員の状況は次のとおりです。

区 分	前期末	当期末	備 考
正規職員	7人	7人	
派遣職員	3人	3人	
計	10人	10人	

2-5 業務の運営の組織に関する事項

当共済会における業務運営の組織は次のとおりです。

総代 104名 理事 8名 監事 3名

会 長—理事長—常務理事—事務局長—火災共済部長—課長—主事—書記

(代表理事)

出納室長—係員

47都道府県支部長—支部事務長

2-6 施設の設置状況に関する事項

当共済会の事務室はヤクルト本社ビルの一部を賃借しており、その面積は次のとおりです。

施設名	所在地	賃借面積 (㎡)	備 考
ヤクルト本社ビル (全日本消防人共済会)	東京都港区東新橋 1-1-19	206.1 ㎡	

3 附属明細書

3-1 役員報酬等の状況

役員報酬明細

区 分	定款上の定員	支給人員	支給総額	備 考
理 事	7人以上9人以内	2人	6,979,834円	
監 事	2人以上3人以内	なし	なし	
計		2人	6,979,834円	

3-2 役員以外の法人等の業務執行者兼職状況

当共済会の役員以外の法人等の兼職の状況は次のとおりです。

役職名	常勤 非常勤	氏名	兼職先名	兼職先での役職名
会長 (代表理事)	非常勤	秋本 敏文	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	会長 会長
理事長 (代表理事)	常勤	三輪 和夫	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	理事長 理事長
常務理事	常勤	田中 豊	(公財) 日本消防協会 (公財) 消防育英会	常務理事 常任参事
理事	非常勤	花田 了影	(公財) 日本消防協会 (公財) 北海道消防協会	副会長 会長
理事	非常勤	沖山 仁	(公財) 日本消防協会 (一社) 東京都消防協会	副会長 会長
理事	非常勤	水島 三雄	(公財) 日本消防協会 (公財) 福井県消防協会	副会長 会長
理事	非常勤	市原 泰	(公財) 日本消防協会 (公財) 高知県消防協会	副会長 会長
理事	非常勤	陣内 成和	(公財) 日本消防協会 (公財) 佐賀県消防協会	副会長 会長
監事	非常勤	大濱 進彦	(公財) 日本消防協会 (公財) 大阪府消防協会	副会長 会長

3-3 当共済会と役員との間の利益が相反する取引

無し。